

令和6年度指定管理者評価シート

1 管理運営の状況等

(1)施設名	さいたま市大砂土障害者デイサービスセンター
(2)施設概要	①所在地 北区本郷町17-7 ②施設の設置目的 障害者がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスの提供及びその他の支援を行い、障害者の福祉の増進を図る。 ③施設の概要 敷地面積 1,007.67㎡ 延床面積 1,567.58㎡ 構造 鉄筋コンクリート造 3階建 事業内容 生活介護事業（定員14人）平成18年10月指定 自立訓練（機能訓練）事業（定員6人）平成18年10月指定 相談支援事業（特定相談支援・障害児相談支援）平成27年4月指定
(3)指定管理者	社会福祉法人 さいたま市社会福祉事業団
(4)指定期間、指定管理料	①指定期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日 ②指定管理料（直近3か年） 令和4年度56,032千円、令和5年度56,032千円、令和6年度56,032千円
(5)施設の管理運営の内容	①運営業務の状況（利用状況含む） ◇利用状況 ＜生活介護事業＞ ・利用者数 3,259人（前年度 3,305人） ・稼働率 95.8%（前年度 97.1%） ＜自立訓練（機能訓練）事業＞ ・利用者数 1,426人（前年度 1,385人） ・稼働率 97.8%（前年度 95.0%） ＜相談支援事業＞ ・契約者数 93人（前年度 81人） ◇業務実施状況 ・開所日数 243日 ・防災訓練（大砂土ふれあいの里として） ・健康相談 ②維持管理業務の状況 ・清掃等管理業務（日常清掃、定期清掃、衛生管理）・機械警備業務 ・一般廃棄物収集運搬処理業務・消防設備保守点検業務 ・自家用電気工作物保守点検業務・エレベーター設備保守管理業務 ・空調設備保守点検業務・公共建築物定期点検業務 ③その他の業務・大砂土ふれあいの里施設管理

(6)収支状況	①収入 ・障害サービス等利用料金収入50,944千円（前年度51,590千円） ・指定管理料56,032千円（前年度56,032千円） ・その他1,255千円（前年度898千円） ・前期末支払資金残高2,521千円 ②支出 ・人件費80,840千円（前年度72,391千円） ・事業費2,863千円（前年度3,573千円） ・事務費2,583千円（前年度2,411千円） ・施設管理費14,147千円（前年度11,495千円） ・繰入金5,163千円（前年度5,163千円） ・その他5,156千円（前年度5,348千円）
(7)利用者アンケート等による 市民からの意見・要望等への対応	法人全体の対応として、さいたま市社会福祉事業団「みなさまの声」の設置要項による投書箱の設置、サービス向上担当者会議による福祉サービス利用者アンケートの実施等、利用者からの意見・要望を受ける機会を設けた。施設としては、行事ごとに満足度調査アンケートを実施し、ご利用者のご意見ご感想を伺った。いただいたご意見ご要望は職員間で共有し、検討した。 全員参加のカラオケの日を設定しているが、カラオケをもっと楽しみたいと希望される方が多かったため、その日の活動希望を伺う際、カラオケを希望される方がいた時は、急遽カラオケルームを設定し、臨機応変に対応して希望に沿った活動を提供した。
(8)その他	

2 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
生活介護事業では一人ひとりの思いを尊重し、自分らしい生活が送れるよう質の高いサービスを提供します。	あらゆる場面で丁寧な説明を心がけ、ご利用者に選択していただく機会を設け、意思決定を尊重した支援を行った。日頃から相談しやすい雰囲気作りや話しかけやすい表情を心がけながら、ご利用者とコミュニケーションを図り、何気ないご意見やご要望を聴取するよう努めた。
自立訓練事業では、一人ひとりの個性と可能性を引き出し、自信と希望のある生活を共にみつけます。	ご利用者一人ひとりの意向に沿った目標を設定し、理学療法士を中心に身体機能及び生活能力の維持、向上のために必要な訓練を行った。外出訓練など社会生活の環境に応じた訓練を実施することで経験を積みながら身体機能の向上を図った。
相談支援事業では、利用者一人ひとりが、住み慣れた地域で、各種の福祉サービスを利用しながら育まれるとともに、自分らしく安心して暮らすことができるよう、相談支援を提供します。	ご利用者が住み慣れた地域でよりよい生活を送ることができるよう区役所支援課や障害者生活支援センター、福祉サービス事業所等と連携した。 アセスメントに基づき、ご利用者の状況に応じたサービスが受けられるようサービス等利用計画書を作成し、必要に応じて即時に相談、対応できる体制を構築した。

3 評価

(1) 指定管理者による評価

生活介護事業では、放課後児童クラブと共催のeスポーツイベントを行い、小学校が長期休みの年3回に定着した。ご利用者と児童の相互理解が深まり、地域交流、世代間交流の場となっている。新たなゲームを取り入れたことで、新たな会話が生まれ、コミュニケーションを図る機会となった。

自立訓練事業では、ご利用者の都合によるスケジュール変更に対応し、天候不良を理由とした欠席は、できる限り送迎し、休まず利用していただけるよう努めた。有期限の事業であるため、終了していく方がいるなかで、利用希望の方は丁寧に聞き取りを行い、希望のある限り受け入れたことで目標とする稼働率を維持することができた。

経費削減については、業務委託している「大砂土ふれあいの里」定期清掃業務の内容を見直し、入浴サービスに使っていたリネンもご利用者それぞれに持参していただくように変更し、削減することができた。

(2) さいたま市の評価(評価担当課:福祉局障害福祉部障害政策課)

総合評価(B)※A~D

1 項目別の評価

(1)「市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進」に対する評価

・アンケートだけでなく、普段より利用者の意向、目標に沿ったサービスを心掛け日々のスケジュール等の見直しなどサービスの向上を行い、結果として自立訓練(機能訓練)事業と相談支援事業のどちらでも稼働率を向上させた。

また建物内にある放課後児童クラブとの共催でeスポーツイベントを行い利用者と児童のコミュニケーションを図るとともに、次世代への障害福祉への理解をもつきっかけとした点を評価した。

(2)「経費の削減」に対する評価

・業務委託している内容を見直し削減した点を評価した。

(3)「適正な管理運営の確保」に対する評価

・定期保守点検や日常点検を適切に実施し、利用者への影響を最小限にするよう努めている点を評価した。

2 総合評価

事業計画に沿って、適正に施設運営が行われている

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

来年度以降も適正な管理運営を継続するよう指導していく。また、利用者の満足度向上にむけて、指定管理者の取り組みを見守るだけでなく、市として関与できる部分については連携していきたい。